



# アイヌタイムズ

## 第 57 号

2013 年 5 月 27 日 (月) アイヌ語ペンクラブ

アイヌタイムズ第 58 号(2013 年 5 月 27 日発行)からアイヌ語抜粋  
著者: 横山裕之

### インフルエンザ オルシペ

(アイヌ イタク [アイヌ語])

インフルエンザ タスム モトホ アナク インフ  
ルエンザウイルス セコロ アイェ プ ネ ルウ  
エ ネ。

ネワアンペ ヤヤン オムケカラ ソモ ネ ノ、  
ニサプノ 38℃ アツカリ マウエコラン ワ、キ  
サシケアン ノイネ、アサパハ アラカ ノイネ、  
オラ シンキアン ノイネ フマシ ペ ネ ルウエ  
ネ。

ヘカッター アナクネ、エクシコンナ ヤイエラム  
ペウテク (急性脳症) ヒ カ アン。オンネクル  
ウタラ アナクネ、アニ ユクラム アウエンテ ワ  
アライケ ヒ カ アン ルウエ ネ。

ヘムパク スイ カ オムケアン ヤクン、ネ タス  
ム イコトウルセ エニタン ペ ネ (飛沫感染)。  
オロワノ、アテケヘ ウイルス ウシ ワ アン  
ヤクン、ネンカネ\* オヤ クル テケヘ カ ウイ  
ルス ウシ ワ ウネノ ネ タスム イコトウルセ  
ナンコンナ (接触感染)。

エネ アン クス、ソイケ ワ ホシツパアン コロ  
石けん アニ ヤシケアン ペ ネ ルウエ ネ。

日本 オロ タ ケシパ シリマタ コロ 季節性イ  
ンフルエンザ パヨカカムイ エク ルウエ ネ。

ケシパ アン コロ、ホシキノ 11 チュプ ケシ  
ワノ 12 チュプ パクノ アパ ルウエ ネ。

学校 オロ タ マタシニ アン ヒ タ、パヨカカ  
ムイ カ シニ ノイネ アン。コロカ、シリオヤ  
パ コロ 1 チュプ ワノ 3 チュプ パクノ タス

### インフルエンザのお話

(日本語)

インフルエンザという病気の原因は、インフル  
エンザウイルスと言われるものです。

これは、普通の風邪とちがって、急激な 38℃  
以上の発熱、悪寒、頭痛、全身倦怠感が起き  
ます。

たまに、子供は急に意識がなくなり(急性脳  
症)、お年寄りには肺炎になって、亡くなる人もい  
ます。

咳をすると病気が広がり、これは「飛沫感染」と  
言われるものです。

手にウイルスが付くと病気が広がり、これは  
「接触感染」と言われるものです。(\*イキヤとし  
てましたが、ネンカネの間違いでした。)

そのため、外から帰ってきた時は、石けんで手  
を洗うことは大事なことです。

日本では、毎年、冬になると季節性インフルエ  
ンザは流行します。

通常、最初に 11 月下旬から 12 月までに発生  
します。

学校が冬休みの間はおさまり、翌年の 1~3 月  
頃に増加しピークを迎えて 4~5 月には流行は  
収まります。

ム クル ウタラ ウウエエパク タ インネ ワ、イヨッタ ポロンノ オカ ルウエ ネ。オロワノ、4 チュプ ワノ 5 チュプ パクノ、タスム クル モヨ ワ イサム ルウエ ネ。

感染症法 セコロ アイエ イレンカ アン。ネイレンカ アニ、アニスク イサ (定点医療機関) 7 ト ピシノ インフルエンザ アニ タスム クル ピシキ ワ、ヘムパク クル ネ ヤ カ 保健所 エユタラ ルウエ ネ。

北海道 オロ タ 定点医療機関 227 パクノ オカ ルウエ ネ。

北海道 オロ タ 保健所 30 パクノ オカ ヒケ、2013 パ 第3週 ネ ヒタ 24 保健所 オロ タ アイアパプ クニ プ ネ (注意報レベルネ アン) ワ、3 保健所 オロ タ アスラニアン クニ プ ネ (警報レベル ネ アン) ルウエ ネ。

シネ 定点医療機関 オロ タ、インフルエンザ アニ タスム クル 1 週 ウトウル タ ワニウ パクノ アン ヤクン、注意報レベル ネ ヤク アイエ。

注意報レベル ネ アン ヤクン、4 週 パクノ オカケ タ、タスム クル ポロンノ オカ ナンコロ。

シネ 定点医療機関 オロ タ、インフルエンザ アニ タスム クル 1 週 ウトウル タ ワニウ イカシマ ホッネン パクノ アン ヤクン、警報レベル ネ ヤク アイエ。

警報レベル ネ アン ヤクン、ナア ポロンノ パトウム スルルケ ナンコロ。

ホシツパアン コロ ヤシケアン。50% オロ ワ 60% オロタ 湿度 (エネ マウ テイネ ヒ) アカラ。ピリカノ シニアン ワ ポロンノ イペアン。ピリカノ ヤイエヤマン。ネユン ポカ アイヌトパハ トウム ウン ソモ アラパアン、ヤク ピリカ。

オラ、インフルエンザワクチン 予防接種 アキヒカ ピリカ ルウエ ネ。

接種 アキ ヤクン、タスム エイタサ ウエンカ ソモ キ ナンコロ。

オンネ クル キ ヤク イヨッタ ピリカ。

感染症法という法律に従って、頼まれた医療機関が、7 日ごとに(毎週)、インフルエンザ患者を数えて保健所に報告しています。頼まれた医療機関は、定点医療機関と言われるものです。

北海道には、227 の定点医療機関があります。

北海道には、30 の保健所がありますが、2013 年第3週には、24 保健所で注意報レベルとなり、3 保健所で警報レベルとなりました。

1 つの定点医療機関の平均インフルエンザ患者が 10 人を超えると、注意報レベルになります。

注意報レベルになると、4 週間後までに、大きな流行になることがあります。

1 つの定点医療機関の平均インフルエンザ患者が 30 人を超えると、警報レベルになります。

警報レベルになると、大きな流行が続くことがあります。

外出して帰ってきたら手洗いをしたり、50%~60%の湿度にしたり、十分に休んだり、十分に食べたりして、体を大事にしたり、なるべく人ごみには行かないようにすると良いです。

また、インフルエンザワクチンを予防接種することは大事です。

接種するとそんなに悪くなりません。

特に高齢者にすることは良いことです。

アイヌタイムズをご購入していただける方がお知り合いでいらっしゃいましたら、お声をかけていただくと大変うれしく思います。

購読連絡先: 〒055-0101 北海道平取町二風谷 80-25 萱野志朗(宛)  
購読料: 1500 円 (4 号ごと/アイヌ語版のみ)  
2300 円(4 号ごと/アイヌ語版と日本語版)

読者からの投稿募集:

(連絡先): 〒047-0033

浜田隆史(宛)

北海道小樽市富岡 1-32-136

電子メール:

ウェブページ: <https://otarunay.at-ninja.jp/taimuzu.html>

注)アイヌタイムズの著作権は、アイヌ語ペンクラブにあります。

注)1. 赤字は、アイヌ語です。

2. 赤字のイタリック文字は、日本語由来のアイヌ語外来語です。